

第1回定例会を開催 ～2月20日から3月17日まで～

本定例会では、条例関係、予算関係などの議案51件及び陳情1件を審議しました。本定例会における審議結果は、14・15ページをご覧ください。
また、17人が一般質問を行いました。



4年ぶりに開催された天津神社春の大祭
(糸魚川けんが祭り 4月10日)

議会の動き

1月

- 6日 上越三市議会議長会（妙高市）
- 27日 建設産業常任委員会

2月

- 3日 新潟県市議会議長会春季定期総会
（南魚沼市）
- 8日 全員協議会
総務文教常任委員会
- 13日 議会運営委員会
- 20日 本会議（初日）

- 27日 本会議（一般質問）
（28日、3月1日、2日）

3月

- 6日 建設産業常任委員会
- 7日 市民厚生常任委員会
- 8日 総務文教常任委員会
- 9日 予算審査特別委員会（10日、13日、14日）
- 16日 議会運営委員会
- 17日 本会議（最終日）
議会運営委員会

目次	Contents
委員会報告	2～4 P
一般質問	5～13 P
議案の審議結果	14～15 P
次回定例会日程	16 P

常任委員会

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行うための常設の委員会です。

本会議で付託された議案等の案件について、3つの常任委員会で審査しました。

各常任委員会の審査件数や所管事項調査の項目、主な質疑の内容（本定例会最終日の委員長報告より抜粋）は次のとおりです。

総務文教常任委員会

3月8日に条例の制定4件、補正予算1件、その他の議案1件、陳情1件を審査し、「(仮称) 駅北子育て支援複合施設基本計画（修正案）について」「保育所のあり方検討の取組について」「糸魚川市地区公民館管理運営委員会連合会の消費税申告漏れについて」の所管事項調査を行いました。

○所管事項調査「(仮称) 駅北子育て支援複合施設基本計画（修正案）について」

質疑

子育て支援センターの相談業務や子供たちを遊ばせる空間は、一定のスペースが必要である。また、図書・学習スペースが1階で遊戯施設は2階となっているが、子供たちが動き回った音や振動は1階に影響はないものか。

答弁

この基本計画は、施設の機能や敷地等を定めることが主な目的で、各機能の大きさなどはこれから調整していくことと考えている。子供が楽しめる屋内遊戯施設と子育て支援センターの併設を予定しているが、利用者がそれぞれの機能の違いを意識せずに利用できるような形で子育て支援に取り組んでいきたい。また、図書施設については子育て支援の面から会話、飲食も許容できるような方向性を求める声もあり、他の図書館の利用者のニーズもくみながら施設の配置などを詰めていきたい。

建設産業常任委員会

3月6日に条例の制定1件、補正予算2件、その他の議案3件を審査しました。

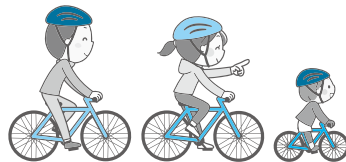
○糸魚川市白馬山麓国民休養地条例の一部を改正する条例の制定について

質疑

新たにレンタルを開始する電動アシスト付マウンテンバイクは、いくらで購入したか。また、サイクリングロードの整備や危険な場所へ行かないための看板設置についての考えはあるか。

答弁

1台当たり46万円で購入した。サイクリングロードに急峻な場所があることから、安全には十分気をつけてご利用いただけるよう、注意喚起していきたい。



高浪の池周辺でサイクリングを楽しめます。

市民厚生常任委員会

3月7日に条例の制定3件、補正予算1件を審査しました。

○糸魚川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

質疑

保険税率を引き下げることにより、県内の市町村と比較して保険税額はどのような状況になるか。

答弁

令和4年度の当初賦課の状況では1人当たりの保険税額が9万334円で、県内30市町村中、上から22番目である。改定後、同じ条件で算定をすると、令和5年度は1人当たりの保険税額が8万4,896円となり、5,438円減額になる。県内での順位は更に低くなると思われるが、保険税率の引下げを行う市町村もあるかと思われるので、正確な状況はまだ分からない。

閉会中の所管事項調査

常任委員会が定例会の会期以外に行う調査です。

総務文教常任委員会

2月8日

- ◎ (仮称)駅北子育て支援複合施設基本計画(案)について
- ◎ 木浦地区公民館の解体工事について

建設産業常任委員会

1月27日

- ◎ 糸魚川市駅北まちづくり戦略の進捗状況について
- ◎ 水産業の現状と課題について

議会運営委員会

議会運営をスムーズに進めるために、議会全般にわたる事項について協議・調整する委員会です。

2月13日

- ◎ 第1回市議会定例会の会期及び日程について
- ◎ 請願・陳情の付託について
- ◎ 委員長報告について
- ◎ 予算審査について
- ◎ 議会運営について

3月16日

- ◎ 追加議案について
- ◎ 委員長報告について
- ◎ 閉会中の継続調査の申出について
- ◎ 6月定例会の会期及び日程(予定)について
- ◎ 議会運営について

3月17日

- ◎ 監査委員の討論についての動議の取扱いについて

委員会協議会

閉会中や休会中に常任委員会の所管に係る事項その他問題について協議する事実上の会議です。

建設産業常任委員会

1月27日

水産業の現状と課題について、上越漁業協同組合様からお話を伺い、懇談を行いました。

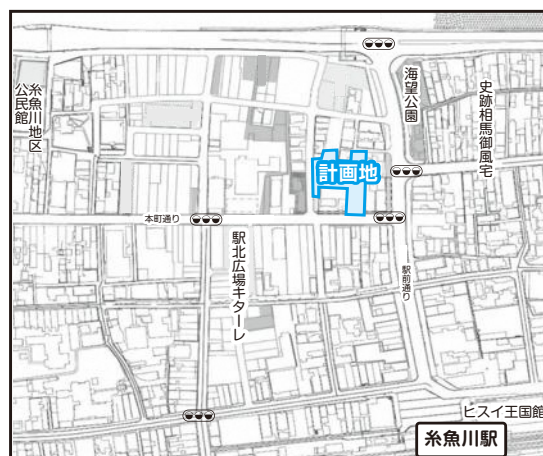


懇談の様子

(仮称) 駅北子育て支援複合施設基本計画(案)について全員協議会を開催(2月8日)

大町2丁目地内に整備予定の(仮称)駅北子育て支援複合施設基本計画(案)について、行政から整備方針や施設計画、概算事業費などの説明を受けた後、施設の整備費や運営費、施設建設による効果などについての質疑応答が交わされました。

全員協議会とは…市政に関する重要な事件又は議会運営に関する事項について協議又は調整するため、議員全員が出席して開かれる会議です。



特別委員会

市の重要課題について、専門的に調査研究を行うため、必要に応じて設置される委員会です。

予算審査特別委員会

令和5年度当初予算案を可決 一般会計 255億8,000万円（前年度比同額）

特別会計 112億6,870万円（前年度比2億2,240万円増）

公営企業会計 77億5,250万円（前年度比6,990万円増）

本定例会初日に予算審査特別委員会（議長を除く17人の議員で構成）を設置し、令和5年度の一般会計、特別会計6件及び企業会計4件の審査を行いました。3月9日、10日、13日、14日の4日間で審査を行い、予算案は全て原案どおり可決しました。

各事業における委員長報告の内容は次のとおりです。



和 泉 克 彦
委員長



阿 部 裕 和
副委員長



審査の様子

医療人材確保対策事業 1億1,653万円（健康増進課関係）

市内産婦人科確保対策事業

2,467万7,000円（健康増進課関係）

令和4年度末で糸魚川総合病院における分娩が休止となり、市内で出産ができなくなる。そのことにより、少子化対策や若者定着に大きな影響を与えることが考えられる。また、医療人材不足の課題も抱えている。引き続き市民が安心して住み続けられるよう、医療人材及び産婦人科医の確保に努め、医療体制の充実を図ることを強く求める。

駅北子育て支援複合施設整備事業

9,463万8,000円（こども課関係）

駅北子育て支援複合施設は、（仮称）駅北子育て支援複合施設基本計画（修正案）をたたき台として計画するものであるが、この予算はあくまでも既存のビルの解体設計、用地購入の予算である。本計画の内容については今後、総務文教常任委員会で審査するものである。

電子地域通貨事業 5,300万円（企画定住課関係）

制度の内容や目的についての質疑に対して、市内共通商品券、プレミアム商品券を電子通貨に置き換えて使っていただくための動機づけとし、行政ポイントの活用も考えている。また、地域内経済循環を目的とし、官民連携のモデルとなるよう進める中で、所管の委員会へ説明の上、制度の内容を関係機関と詰めていくと答弁があった。

ひきこもり対策事業 47万5,000円（健康増進課関係）

若年層がひきこもっている実態について、自主グループへの委託も必要だが、医療性の高い、専門性を持った人材や機関への委託も含め、保健所や警察などの外部機関との連携が必要ではないかとの質疑に対して、ひきこもりとなっている原因を少しでも和らげ、取り除く手立てなどをしながら、社会復帰をしていただきたいと考えており、必要であれば補正予算で対応し、取組を進めたいと答弁があった。

※ YouTube「糸魚川市議会チャンネル」で予算審査特別委員会の録画映像を配信しています。



伊藤 麗 議員



問 糸魚川市における地域医療構想について

質問

- (1) 地域医療フォーラムに参加した市民からアンケートで寄せられた感想は、どのようなものだったか。
- (2) 地域医療体制の確保についての課題と、市が行っている取組について伺う。
- (3) 糸魚川総合病院における診療科数は今後どのように推移・変化していくのか、開業医による診療所数はどのように推移していくのか、見込みを伺う。

市長答弁

- (1) 将来の地域医療体制の不安解消に取り組んでほしいとの要望のほか、地域医療の現状や課題を知ることができ、参考になったという意見が多く寄せられた。
- (2) 医師・看護師などの医療人材を確保するため、医学生や看護学生等に対する修学資金の支援、小・中・高校生への啓発活動、富山大学等への医師派遣要望に取り組んでいる。
- (3) 人口減少に伴う医療需要の減少や開業医の高齢化に伴い、診療科目、診療所数共に減少するものと考えている。

問 子育てに関わる施策と公の施設の在り方について

質問

- (1) 現行の子育て支援策の中で、令和5年度以降拡充予定のものはあるか。
- (2) 発達支援と障害児福祉について、課題と取組を伺う。
- (3) 糸魚川市子ども一貫教育を根幹とした公立保育園、学校教育系施設、子育て支援施設の適正配置について、今後の展望を伺う。
- (4) (仮称) 駅北子育て支援複合施設について、立地適正化計画を含めた駅北エリアの復興デザインと市全体の子育て支援の拠点づくりをどのように両立させ、未来につないでいく施設とするのか。

市長答弁

- (1) 子ども医療費の無償化や子育て世帯ヘルパー派遣の開始、放課後等デイサービス事業所の新規開設のほか、産後ケアの拡充などを予定している。
- (2) 多様化するニーズに対し、きめ細やかな支援をどう提供するかが課題と捉えている。引き続きニーズを把握し、必要なサービスの提供に努めていく。
- (3) 少子化による人口減少が見込まれることも踏まえ、地域の要望なども把握しながら、適正な配置となるよう検討していく。
- (4) 都市機能を集約しつつ、少子化に対応した子どもを産み育てやすい環境整備に向け、(仮称) 駅北子育て支援複合施設の整備を計画しているところである。

渡辺 栄一 議員



問 糸魚川市へのU I ターン及び移住者への取組について

質問

- (1) 現状をどのように認識し、増えない原因、U I ターンや移住者のネックになっているものは何だと捉えているか。
- (2) 転入・転出者の主な理由を把握しているか。
- (3) 令和4年度、U I ターンや移住者向けの支援制度を利用した成功事例は何件あったか。また、有効にマッチングしていると考えられるか。
- (4) 「J O I N 移住・交流&地域おこしフェア2023」の反応はどうであったか。相談件数と相談者に対するフォローアップをどのようにするのか。
- (5) どの自治体も一定の制約下にあるため、勧誘条件が同じになる傾向にあるが、何か「目玉」になるもの、「うちの売りはこれだ」というものを考えているか。

市長答弁

- (1) 移住先での暮らしや就業などが影響しているものと捉えている。
- (2) 転入・転出共に就業関連が主な理由となっている。
- (3) U I ターン支援制度による移住者数は、令和5年1月末現在、29世帯44人となっている。
- (4) 約160人の来場があり、希望者にはオンライン相談の実施やイベント周知を継続していく。
- (5) 東京圏からのアクセスの良さや、ユネスコ世界ジオパークに認定されている自然環境と、ヒスイや歴史文化等の地域資源が魅力であると捉えている。

問 当市のにぎわいの拠点施設、(仮称)駅北子育て支援複合施設基本計画(案)について

質問

- (1) 駅北地区にはキターレもある。新たに図書・学習スペースが必要なのか。また、図書館も能生・糸魚川・青海の各地域にあり、既に飽和状態ではないのか。
- (2) プレイルーム（屋内遊戯場）については、小学校高学年までを対象としているようだが、どのようなものを想定しているか。

市長答弁

- (1) 子育て支援機能と併せて、多世代が集う場として、にぎわいのあるまちづくりの一助になると考えている。
- (2) 今後詳細な設計や運営方法を策定する中で検討していく。

その他の質問項目

- 柵口温泉権現荘の今後の施設運営について
- 米田市長の公約である市内に看護師養成学校若しくは看護師養成所設立構想について

和泉 克彦 議員



問 新型コロナウイルス感染症の現状と課題について

質問

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行した場合の対応について伺う。

- (1) 接種券の送付の仕方について
- (2) 個々の事情により従来型のワクチン接種をしていない方への対応について
- (3) ワクチン接種における副反応及びその後遺症などの健康被害について
- (4) 今後のマスク着用に係る市民や教育現場における対応について

市長答弁

- (1) 接種券の送付は国の指示により行う予定である。
- (2) 従来型ワクチン接種は、3月末まで市内開業医での個別接種を継続しており、希望される方には早めの接種を案内している。
- (3) 後遺症など健康被害の件数は、個人の特定につながるため非公表とされているが、オミクロン株対応ワクチン接種の開始以降は、軽微な体調不良も含め、副反応の相談がほとんどない状況である。
- (4) 個人の主体的な判断に委ねることを基本とする。

問 糸魚川市の地域公共交通の現状と課題について

質問

- (1) タクシー定額乗り放題の社会実験について伺う。
 - ① これまでの利用者の声と他地域からの声について
 - ② 今後、青海地域や能生地域へ広げていく方向性について
- (2) コミュニティバスについて伺う。
 - ① 市振駅駅舎や親不知駅駅舎が、国の登録有形文化財に登録された際の観光客に対するコミュニティバスの運行について
 - ② あさひまちバスの親不知地域への運行延伸について

市長答弁

- (1) ① 「足腰が悪いので助かった」などの声があり、また、他の地域の方からは「是非自分の地域でもやってほしい」との声を頂いている。
- ② 運行事業者とも協議を行い、他の地域での実施を検討していく。
- (2) ① 2つの駅舎と天険親不知という観光資源を活かしたツアーの造成等を進めていく。
- ② 運行ルートの延伸に向けて朝日町と協議を行っている。

利根川 正 議員



問 糸魚川市の今後の農業について

質問

- (1) 昨年の糸魚川産コシヒカリは品質、収量共に前年を下回る結果となった。また、ロシアのウクライナ侵攻により、燃料費、肥料価格、資材価格が高騰し、大変厳しい状況となったが、今後、農家に対する支援と所得確保にどう対応するか。
- (2) JAひすいは、JAえちご上越との合併を協議している。市はこれまでJAひすいと共に活動してきたが、この合併をどのように考えているか。
- (3) 県内の中山間地域等直接支払制度の実態調査では、令和7年度以降の取組について、中止する又は一部農地を除外して取り組むとした地域が431地域に及んだ。その理由として、高齢化による体力や意欲の低下、鳥獣被害の増加が挙げられていた。この取組の中止などにより農地の荒廃がますます進むと考えるが、今後の市の対策を伺う。

市長答弁

- (1) 肥料価格上昇分の一部を支援するほか、関係機関と連携し、営農指導体制の強化や土壌診断の実施などにより、品質向上と収量確保による所得向上に取り組んでいく。
- (2) 経営基盤の強化につながる一方、営農指導体制の縮小や利便性の低下につながらないように、今後も情報を共有し、注視していく必要があると考えている。
- (3) 地域営農の目指すべき将来像を定める集落戦略策定のための協議を進めており、営農をやめる土地の適正管理を含めた集落戦略の実現に向け、地域の実態に応じた支援を行っていく。

問 自然災害の対応について

質問

土砂災害は、地層に雪解け水や雨水がしみ込む春先に発生する可能性が高いとされている。各地域において、裏山、農道のひび割れ、水の噴き出しなど災害の前兆現象を注意して見ることが重要かと思うが、春先における市の対応を伺う。

市長答弁

各地区の地すべり巡視員からの定期報告のほか、地すべり防止区域を中心に現地パトロール等に努めている。また、安心メールにより災害への注意喚起を行うとともに、異変や気づいた点についてご連絡いただくよう市民周知をしている。

その他の質問項目

○柵口温泉権現荘の運営について

保坂 悟 議員



問 子どもの可能性を広げるまちづくりについて

質問

市内の子どもたち一人ひとりの可能性を伸ばせるように、地域全体で基礎学力・基礎体力・コミュニケーション能力が身に付くように、家庭教育支援を行うべきと考えることから、以下の取組について伺う。

- (1) 子どもの権利条例の制定について
- (2) 絵本の読み聞かせやお話の機会拡充について
- (3) 習い事など家庭の体験格差の解消支援について
- (4) 幼少期から運動神経が発達するような取組について
- (5) 小学校5・6年生を対象にした全国統一模試の受験支援について
- (6) 前倒し学習や各検定試験のアドバイス支援について
- (7) お小遣いのプレゼンテーションなど金融教育の推進について
- (8) 将来の就職や進学に沿った高校受験のアドバイス支援について
- (9) 医師等の人材を育てる国家試験合格支援事業の創設について

教育長答弁

- (1) 今のところ条例制定の考えはないが、引き続き子どもの権利が尊重されるよう、子どもの立場に立った支援、取組を進めていく。
- (2) ～ (9) 何よりも子ども一人ひとりの可能性を伸ばすことが重要であり、ご提案いただいた点も踏まえ、取組を積極的に検討していく。

問 糸魚川市駅北まちづくり戦略について

質問

- (1) 駅北広場「キターレ」の新しい取組手法について、高校生のビジネス部活として「(仮称)なんちゃってスタバカフェ」の運営と海洋高校のサテライトショップを設置して、地域通貨を活用したにぎわいづくりの考えはあるか。
- (2) 市営駅北復興住宅について、復興のシンボルとしての役割や今後の活用はどのように考えているか。

市長答弁

- (1) ご提案の内容も踏まえ、引き続き様々な取組により、市民が集い、交流する場となるよう努めていく。
- (2) コミュニティの再建、火に強い木造建築物による街並みと調和した居住空間の提供が役割であり、今後とも若者・子育て世代の居住を進めていきたいと考えている。

その他の質問項目

- (仮称) 駅北子育て支援複合施設について
- 大糸線の新しい価値創造について

田中 立一 議員



問 健康づくりセンター「はびねす」第1期工事の入札について

質問

平成18年度のはびねす第1期工事の設計業務委託は、実施設計までされたが発注に至らず、同22年に同じ担当者、同じ受託業者により実施設計を行い、施工された。昨年の12月定例会一般質問において、当時の入札に関して保存されている資料の調査結果と県単価漏えい等の有無について質疑したところ、資料を突合したが県単価漏えい等の不正は存在しない、という答弁であった。

- (1) 平成18年の発注にまで至らなかった設計業務委託の成果品の単価根拠凡例及び内訳書の中に、県単価の表示が見られることについて伺う。
- (2) 平成22年の市の発注図書の内訳書は、平成18年の業者による成果品と同じ書式であるが、市の書式なのか。

市長答弁

- (1) 凡例に対応する内訳書には、関連性が認められなかった。
- (2) 市指定の書式ではなかった。

問 駅北大火復興市営住宅実施設計業務委託について

質問

- (1) 実施設計業務委託において求められている追加業務の中で、「構造計算適合性判定申請書」の資料については「なし」という返答であった。当時の経緯と対応について伺う。
- (2) 復興市営住宅新築工事に係る監理業務委託の監理面積について、これまで「国土交通省の『官庁施設の設計業務等積算基準・要領』を適用するなら、建築基準法上の面積であり、確認済証などに含まれていないバルコニーや共用廊下等は対象にならない」と指摘してきたところである。国や県にも確認したところ、私と同じ見解であったことから以下伺う。
 - ① 改めて監理面積についての所見を伺う。
 - ② バルコニーや共用廊下を監理面積に含めるなら、建築基準法にのっとり、確認申請等の面積に含めるべきでなかったか。なぜ含めなかったのか。

市長答弁

- (1) 設計業務を進める中で構造計算適合性判定が不要となり、申請書の作成は行わなかったものである。
- (2) ① 実務として工事監理をしていたら面積を監理面積としたものである。
- ② 建築基準法における確認面積の床面積は、共用廊下等を含めない規定となっているものであり、監理面積とは異なるものである。

その他の質問項目

- 公文書の保存と管理について
- 糸魚川市の農林水産業について

近藤 新二 議員



問 糸魚川市内の経済状況について

質問

閉店や廃業等が続く市の現状と今後について伺う。

- (1) 市内経済の動向について
- (2) 政府が進める賃上げについて

市長答弁

- (1) コロナ禍からの回復傾向が見られるものの、物価の高騰により今後の見通しは不透明であると感じている。
- (2) 公的価格の引上げや賃上げ促進税制などの環境が整備されたもので、所得の向上につながることを期待している。

問 除雪、融雪施設の整備について

質問

降雪時における除雪・排雪・融雪は、市民生活や地域経済を円滑に進めるために最も重要と思われる。現状の課題と施策の方向について伺う。

- (1) 除雪機械の維持更新について
- (2) 除雪作業の事業者と人材確保について
- (3) 消雪パイプの施設の維持管理と新規整備について
- (4) 屋根雪等の除排雪について

市長答弁

- (1) 適切な点検補修と計画的な更新を行っている。
- (2) 市所有の除雪機械を貸与するとともに、大型運転免許等取得費用の助成によりオペレーターの確保に努めている。
- (3) 既設の消雪パイプは、シーズン前の点検や必要に応じて修繕を行っている。また、路線の状況によって、消雪パイプの設置を検討していく。
- (4) 自力で除雪ができない世帯に対する屋根雪除雪等の費用助成のほか、除雪作業における転落防止等の安全対策を推進していく。

問 耕作放棄地の対策について

質問

- (1) 耕作放棄地の現状と推移について伺う。
- (2) 耕作放棄地の再利用と支援について伺う。

市長答弁

- (1) 令和3年度の休耕農地の面積は、約2ヘクタールであったが、年度により変動が大きく、過去5年間で最も多い年度は、約12ヘクタールとなっている。
- (2) 地域での話し合いに基づき、地域等が実施する農用地の保全活動等に対して、国の支援制度が活用できる。

田原 洋子 議員



問 空き家の活用について

質問

- (1) いえかつ糸魚川に登録している空き家の買手が見つからない場合、所有者に解体の検討を促す時期などの基準は設けているか。
- (2) 空き家実態調査で見えてきた課題は何か。
- (3) 空き家無料相談会で多かった問題は何か。
- (4) 空き家終活セミナーで関心度の高い項目は何か。
- (5) 空き家を売りたい人と、空き家を探している人のミスマッチは何が原因となっているか。
- (6) 空き家の家具などを販売する計画はないか。
- (7) U I ターン者に対する空き家取得支援事業補助金と改修事業補助金を、民泊や飲食店などで空き家を利活用する市民も対象となるよう拡充する考えはないか。
- (8) 空き家から貴重な資料となる古文書などが見つかることがあるが、歴史的価値、文化財の保護の観点から呼び掛けは行っているか。
- (9) 空き家対策の担当課を1つにまとめる考えはないか。

市長答弁

- (1) 解体時期の明確な基準は設けていない。
- (2) 新たな空き家の発生を抑制することや、所有者等の管理意識を高めていくことが課題と捉えている。
- (3) 空き家の解体についての相談が多くあった。
- (4) 空き家を売るための方法や、手放す際に掛かる費用、相続の方法などが関心の高い項目であった。
- (5) 価格や大きさ、駐車スペースの有無等が挙げられる。
- (6) 他市の事例等を調査研究していく。
- (7) 事業用のニーズを探り、現在の制度活用と併せ、調査研究していく。
- (8) 広報紙等で呼び掛けを行っている。
- (9) 市民に分かりやすい形となるよう検討していく。

問 避難所の運営について

質問

- (1) 初めての場所に不安を感じる、大勢のところが苦手といったような配慮が必要な避難者に対しての対応はどのようなになっているか。
- (2) 根知小学校以外で防災キャンプを行っている学校はあるか。また、市内全校に広げる考えはあるか。

市長答弁

- (1) 災害事象に応じて、避難所だけでなく、自宅避難や親戚・知人宅への避難も検討いただくよう、出前講座などで周知を行っている。
- (2) 令和4年度、根知小学校以外では木浦小学校で宿泊を伴う防災キャンプを実施しており、引き続き中学校における防災学習を展開していく。

新保 峰孝 議員



問 にぎわいの拠点施設について

質問

- (1) 駅北大火から6年2か月が経過した現在、最初の「復興まちづくりに関する提言書」にあった事業は、防災・にぎわいの拠点以外、ほぼ完成していると思う。提言書にあるように、鉄道利用の人や車利用の人がまちなかを回遊するような「にぎわいの創出」はできているか、現状を伺う。
- (2) 糸魚川市駅北復興まちづくり計画検討委員会から復興まちづくりに関する提言が出された後、平成29年11月15日、新潟県から新たな津波浸水想定が発表された。市は平成31年3月に津波ハザードマップを作成し、各家庭に配布している。この浸水想定は、県が作成した時点のものである。地球温暖化で海面が毎年1センチメートル上昇しているとのことであるが、これらを踏まえた上で、防災・にぎわいの拠点施設を考えているか。
- (3) 防災・にぎわいの拠点は、現在（仮称）駅北子育て支援複合施設として提起されているが、都市計画上、予定地にふさわしい施設と捉えて、提案しているか。

市長答弁

- (1) 大火以後、新たな企業進出や勉強する学生の姿が見受けられており、これからの時代に沿った新しいにぎわいにつながるよう期待しているところである。
- (2) 市民が安心して利用できる施設となるように努めていく。
- (3) 立地適正化計画において、駅北地区への立地を進めているものである。

問 権現荘の廃止について

質問

- (1) 令和5年度から旅館としての権現荘の運営についてはやめたいという意向のようであるが、今後の施設管理をどのように考えているか。
- (2) 初心に立ち返り、小中学生を対象にジオパーク学習と連携した教育施設としての取組はできないか、権現荘周辺に活用できる資源はないか、検討する考えはないか。

市長答弁

- (1) 民間譲渡の可能性を検討しているが、当面は、日帰り温泉のみの営業を続けていきたいと考えている。
- (2) 社会教育学習にも活用できるものと考えている。

その他の質問項目

○保育園職員の退職について

中村 実 議員



問 糸魚川市の自殺対策と今後の取組について

質問

- 糸魚川市自殺対策計画は、令和5年度が最終年度となっているが、次期計画に向けて、これまでの評価と今後の取組について伺う。
- (1) 県と市の自殺者数の推移と原因、特に多い年齢層を伺う。
 - (2) 市の自殺対策計画策定に対し、県はどのように関わっているのか。
 - (3) 昨年9月の自殺予防週間ではどのような啓発を行い、3月の自殺対策強化月間ではどのような事業を計画しているのか。
 - (4) 市の教育委員会では、児童生徒への自殺防止又は命の尊さをどのように教育しているのか。

市長答弁

- (1) 令和4年の自殺者数速報値では、県は433人、当市は6人となっており、減少傾向である。原因については、様々な要因が連鎖しているが、当市ではその一つとして健康問題が多く関係している。また、自殺者数が多い年代は、高齢者層である。
- (2) 県からは、計画策定審議会に参画していただいている。
- (3) 9月には、市内医療機関やスーパーマーケット、図書館等にチラシを配置するとともに、イベントを通して自殺対策の意識づけを行った。また、2月からは、確定申告会場において映像による啓発を行っている。
- (4) 道徳科授業や特別活動を通して、命を大切にする心を育む教育を推進している。



横山 人美 議員



問 ひとみかがやく日本一の子どもを育むための、家庭、地域、保育、教育現場における現状と諸課題、並びに、課題を解決するために必要な施策について

質問

糸魚川市子ども一貫教育が目指す「わがいといがわのひとづくり」において、一人ひとりの子どもたちを「ひとみかがやく日本一の子ども」に育てるために、家庭、地域、保育、教育現場において必要なことを共に考えるため、以下伺う。

- (1) 家庭における現状と課題として、子どもたちを取り巻くインターネット環境が心身に及ぼす影響と実態について
- (2) 地域における現状と課題として、第2次糸魚川市子ども読書活動推進計画の成果と課題、今後の展望について
- (3) 保育園、幼稚園における現状と課題として、保育士、幼稚園教諭の働き方の改善について
- (4) 学校における現状と課題として、子どもたち一人ひとりに合った学ぶ力を育てるために工夫していること、必要なことについて

教育長答弁

- (1) 実態として、スマートフォンやタブレットの使用年齢が低年齢化しており、使用時間も小学校高学年以降で長時間使用する割合が増加している。また、影響として、長時間使用による生活リズムの乱れ、体力や学力・視力・コミュニケーション能力などの低下が懸念されている。

- (2) 成果としては、学校と図書館の連携により、学校図書館にない図書の提供や調べ物学習などに必要な資料の相談など、協力体制の強化を図ることができたと考えている。

課題としては、読み聞かせボランティアが減少傾向にあり、回数の維持ができなくなるといった懸念があることから、新たなボランティアの育成を図っていく必要があると考えている。

子どもの読書環境の整備に向け、引き続き関係機関と連携し、活動の推進に取り組んでいく。

- (3) 保育士等の離職防止と職場環境を改善するための外部アドバイザーや、業務支援職員を配置するとともに、ICTを取り入れた業務改善に向けて、各園における記録作成や日常業務の見直しに取り組んでいる。
- (4) 教員同士が連携し、授業改善や指導力の向上を図ることで、誰一人取り残すことのない学びの実現を目指している。

東野 恭行 議員



問 アフターコロナを見据えた糸魚川のまちづくりの展開について

質問

- (1) 市が考える他市町村との持続可能な交流・連携の在り方について伺う。
- (2) コロナ禍になり、ますます人気が高まったアウトドア。キャンプブームが続いているが、市が後援する「山や海を活かした取組」について伺う。
- (3) 令和5年度、商工観光課が力を入れて取り組む事業について伺う。

市長答弁

- (1) 上越3市や北アルプス日本海広域観光連携会議など、近隣市町村と地域特性を活かした広域観光圏や商業圏の構築が必要であると考えている。
- (2) マリンスポーツやキャンプ、登山、サイクリングなど、当市の自然と地形を活かしたアウトドアの誘客促進を図っていく。
- (3) 白馬バレー及び上越市、妙高市との広域連携による交流・関係人口の拡大、また、ヒスイの県石指定を契機とした誘客活動を展開していく。

問 駅北のまちづくりの将来展望について

質問

- (1) 市が所有する「旧東北電力ビル」の解体工事における懸念事項について伺う。
- (2) 市が所有する「宮田ビル」は、今後、リノベーションをして活用するのか、解体するのか、現段階の方針について伺う。
- (3) 市が考える駅北復興まちづくりにおけるにぎわいとは何か。(仮称) 駅北子育て支援複合施設が20年後、30年後に与えるであろう影響について、市が考える「仮説」を伺う。
- (4) 駅北広場キターレと(仮称) 駅北子育て支援複合施設との差別化をしっかりと図る必要があると考えるが、いかがか。

市長答弁

- (1) 工事の安全性、周辺への配慮等が必要であると考えている。
- (2) 現段階では解体する方向で考えている。
- (3) 復興まちづくり市民会議での「にぎわいの定義」を基に、新たに子育てや多世代交流の施設を加えることで、人や経済の動きが活発になることを想定している。
- (4) 整備検討を進める中で、それぞれの機能と連携について整理していく。

阿部 裕和



議員

**問** ワンストップ窓口(総合窓口)設置に向けた取組について**質問**

- (1) マイナンバーカードを使った市独自の活用策への取組状況、展望について伺う。
- (2) 出生手続に関する総合窓口である「出生ワンストップ窓口」、死亡手続に関する総合窓口である「おくやみワンストップ窓口」を設置する考えはないか。
- (3) 北海道北見市が独自開発した「窓口支援システム」は、利用者が申請書に手書きすることなく手続ができる「書かない窓口」と、複数の部署をまたぐ手続が1つの窓口で完了するワンストップの窓口サービスを実現している。市民の利便性向上だけでなく、職員の業務効率改善にも貢献している。当市においても、この「窓口支援システム」を導入する可能性はないか。

市長答弁

- (1) コンビニエンスストアにおける住民票等の交付やオンライン申請の本人確認でマイナンバーカードを活用している。今後は、オンライン申請の拡充など、利用者の利便性向上を図っていく。
- (2) 市民に分かりやすいワンストップ窓口の設置について検討していく。
- (3) 今後、システムの導入について、検討していく。

問 大型公共事業で見込まれる残土の処理方法について**質問**

当市において今後控えている事業に伴うトンネル掘削工事等で発生する残土について、市の考えを伺う。

- (1) 今後、大量の残土発生が見込まれる事業と土砂の量について
- (2) 残土の処理方法の検討状況について
- (3) 来海沢地区地すべり災害の際に土砂の置き場が課題となったと聞いた。自然災害が多いと言われる当市である。それらを教訓に現段階から地滑り災害等があった場合の土砂の仮置き場について、検討が必要だと考えるが、現状を伺う。

市長答弁

- (1) 松本糸魚川連絡道路を始め、国道8号東バイパスや親不知道路が想定され、土砂量については、ルートや工法が未定のため明らかになっていないが、大量に発生することが予想される。
- (2) (3) 過去に検討した経過では、当市は平地が少なく急峻な地形であることから、適地の確保が困難な状況にあるが、今後の大型の公共事業と併せて、改めて長期的な視点で検討する必要があると考えている。

加藤康太郎



議員

**問** 県立高校の将来構想における「高校魅力化」に向けた取組について**質問**

- (1) 高大接続改革における探究的な学びによる特色ある「高校魅力化」に向けた、当市の取組状況(成果)と課題について伺う。
- (2) 「高校魅力化プロジェクト」の3本柱の一つとなる「公営塾」を設置する考えはないか。
- (3) 「高校魅力化プロジェクト」の3本柱の一つとなる「教育寮」を整備する考えはないか。
- (4) 「高校魅力化」(教育の魅力化)は、教育政策でありつつも、実は、「移住定住促進の政策」(人口減少対策)でもある。「高校魅力化」に向けた取組が、いかに人口減少対策・移住定住促進につながるのか、当市の見解を伺う。
- (5) 白馬村では、毎年約2億円を支出し、公営塾の経営、学生寮の運営、入学の全国募集の3つの事業を、白馬村が主体となって運営している。当市においても、進捗に応じて、予算を更に充当していく考えはないか。
- (6) 市内3高校への地元からの進学率を高めていくためには、0歳から18歳までの子ども一貫教育基本方針による高校と小・中学校との生徒同士による交流事業や授業の連携が有効と考えるが、今後、どのような対策を講じていくのか。

教育長答弁

- (1) 生徒自らが進みたい目標を見つけ、実現につなげるため、「総合的な探究の時間」への授業支援や「探究プロジェクト」に取り組んできており、少しずつ生徒の変容が見られている。今後、更に取組を進めるためには、コーディネーターの増員が必要であると捉えている。
- (2) 現在、糸魚川高校で自習室を設置しており、今後は他の高校も含めて、公営塾へ発展させることも検討していく。
- (3) 現在、海洋高校のみが県外からの生徒募集が可能であり、寮が設置されている。今後は、コーディネーターとの関わりを深めながら、教育寮への発展も検討していく。
- (4) 高校での探究的な学びによる地域との関わりが、糸魚川への愛着も深まり、移住・定住や糸魚川に関係する人材を育てることににつながるものと考えている。
- (5) 現在の取組を加速させ、状況に応じて財源確保を含め対応していく。
- (6) 特色や魅力のある高校づくりを進め、市内の小・中学生が行きたいと思う高校にするために、学校間の連携を進めていく。

宮島 宏 議員



問 確かな学力の育成について

質問

- (1) 厚生労働省の生活困窮者自立支援制度の中の支援事業の一つとして、子どもの学習・生活支援事業がある。この支援事業は、生活困窮世帯の子どもに対する学習支援、生活習慣・育成環境の改善への支援、教育及び就労・進路選択に関する支援から構成されている。当事業は、全国や本県の自治体の約6割が貧困の連鎖の解消を目指して実施している。当市でも確かな学力の育成のために実施すべきではないか。
- (2) 文部科学省の地域学校協働活動推進事業の中に、地域未来塾と放課後教室がある。これは学習が遅れがちな中学生・高校生を対象に、退職教員や大学生などの地域住民などの協力により実施する原則無料の学習支援であるが、家庭の経済状況にかかわらず全ての生徒が参加できるものである。地域未来塾と放課後教室は、確かな学力の育成に有効と考えられる。当市での実施状況について伺う。

教育長答弁

- (1) 実施していないが、対象者を限定しない学習習慣の定着を図る事業を実施している。
- (2) 実施していない。

問 御風生誕140年記念事業とヒスイ再発見について

質問

- (1) 生誕140年に合わせてどのような取組を行う予定か。
- (2) 相馬御風はヒスイの再発見のきっかけを与えた人物とされている。ヒスイが新潟県の石になったことを受け、今年は御風とヒスイの関わりについて広く市内外に普及する好機と考えるが、いかがか。
- (3) ヒスイの再発見については、昭和14年の論文の冒頭にある記述が市史の研究により加除修正されてきた。さらに、平成30年に発行された書籍「国石翡翠」では、新たに発見された昭和36年の文献と従来の文献に基づいて、ヒスイ再発見の時期の見直しがされた。すなわち、再発見年を市史第1巻にある昭和13年とするよりも、昭和10年と考えるのが妥当であるというもの。ヒスイの県石指定と御風生誕140年を機に、糸魚川におけるヒスイの再発見年を昭和10年に修正する考えはあるか。

教育長答弁

- (1) 既に広報紙で功績等を紹介しているほか、今後は講演会や企画展等の記念事業を実施していく。
- (2) 好機と捉え、普及に努めていく。
- (3) 今後、資料等の研究が進み、再発見年が確定した段階で判断していく。

田原 実 議員



問 (仮称) 駅北子育て支援複合施設基本計画(案)の行政対応と問題点について

質問

- (1) (仮称) 駅北子育て支援複合施設基本計画(案)の詳細を市議会に事前説明せずにパブリックコメントに示した理由、本来踏まなければいけない審査の手順と今後の行政対応について伺う。
- (2) 施設規模と概算工事費の根拠を伺う。
- (3) 費用対効果と運営期間、運営組織について伺う。
- (4) DBO方式[※]とすることの根拠と是非を伺う。

市長答弁

- (1) 今回、補助事業等の手続の関係により、パブリックコメントで先に示す形となり、先般の全員協議会及び総務文教常任委員会においておわびしたが、今後は、議会軽視とならないよう努めていく。
- (2) 利用者数及び法律上の制限を考慮した上で施設規模を定めており、概算事業費は、類似施設の建設費を基に試算したものである。
- (3) 少子化に対応した未来を担う子どもたちの成長と、子育て世代が安心して出産・育児ができる環境づくりが必要であり、運営方法については、今後詳細を検討していく。
- (4) 公民連携の手法であり、施設運営者の意見を設計段階から反映できる手法の一つとして、DBO方式を検討しているものである。

問 大糸線の存続に不可欠な、沿線都市連携とJRの理解及び観光誘客について

質問

- (1) 糸魚川市長と大町市長の思いや覚悟が、どれほどのものか伺う。
- (2) 令和5年度は大糸線存続の「勝負の年」となるが、どういったスケジュール感で動いて、成果を出そうとしているのか。

市長答弁

- (1) 大糸線が存続するために、沿線自治体が一体となって利用促進に努めていくことについて、各自治体と認識を共有している。
- (2) 北陸新幹線の敦賀延伸やその先を見据え、沿線が一体となって利用促進に取り組むことで、鉄道の存続を図っていく。

その他の質問項目

○糸魚川独自の文化的価値の高い地域資源、ヒスイ、谷村美術館などを活かした情報発信と誘客について

※DBO方式…設計 (Design)・建設 (Build)・運営 (Operate) を一括発注する公設民営の方式。

古畑 浩一



議員



問 人口「4万人割れ」人口減対策について

質問

- (1) 国・県では、異次元の少子化対策として、様々な施策を打ち出してきているが、当市の人口は、令和5年2月1日現在39,697人、高齢化率41%、出生数は170人を割っており、合計特殊出生率は1.33と都市機能維持の危機的な状況であり、市長としてどう捉えているのか。また、市として具体的にどう取り組んでいくのか。
- (2) 糸魚川ライフサイクル支援・循環型継続支援を打ち出しているが、子育てする魚「イトヨ」をシンボルとした「イトヨプラン」を打ち出し、人口問題を総合的に捉えて、出会いから結婚、出産、子育て、進学、地元定着、老後までを一連のプランニングとし、安心して産み育てる、さらに「終の棲家」^{ついのすみか}までを策定。それらが一目で分かるパンフレットを作成し、全国発信、全戸配布すべきと考えるが、いかがか。

市長答弁

- (1) 出生数や生産年齢人口の減少は、経済規模の縮小や社会の活力低下につながるものと捉えている。第3次総合計画を着実に実行することにより、合計特殊出生率の改善や若者の転出超過数の減少等の取組を進め、年齢構成のバランスが取れた人口構造への転換を図っていく。
- (2) 第3次総合計画を着実に進めるとともに、ライフサイクル支援策の見える化を行っていく。

問 子育て支援複合施設の需要とこの施設が優先的に必要なのか。

質問

建設費約15億円など、詳細が明らかになるにつれ、批判が高まる子育て支援複合施設構想。なぜ必要なのか。なぜこの場所なのか。一体誰のための施設なのか。何人が使うのか。費用対効果などの詳細と必要性について伺う。

計画を中止する。又は、「日本初・子育て支援センター付き市営住宅」などに計画変更すべきと考えるが、その余地はあるのか。

市長答弁

駅北大火からの復興に向けたにぎわいのあるまちづくりを背景に、都市機能の強化と充実を図りたいと考えている。市営住宅の併設も方法の一つと認識しているが、市としては、これまで多くの皆様と積み上げてきた議論を尊重し、頂いた意見を踏まえて、少子化に対応した未来を担う子どもたちの成長と、子育て世代が安心して出産・育児ができる環境づくりが必要と捉え、(仮称) 駅北子育て支援複合施設の整備を計画しているところである。

その他の質問項目

- 権現荘を今後どのように運用するのか。また過去の経営責任はどうするのか。

議員のなり手不足解消へ

地方自治法の一部改正により、
議員の兼業禁止規制が
緩和されました。

◆議員個人による請負に関する規制が緩和されました。

地方自治法では、議会運営の公正性を確保するため、自治体と継続的な取引がある個人事業主や、自治体との取引額が売上げの半分を超す法人の役員などは議員になることを禁止していました。(議員の兼業禁止)

この規制により、小規模な自治体ほど議員のなり手不足につながっているという声もありましたが、今回の改正により規制が緩和され、自治体から業務を請け負う個人事業主の場合、その年間取引額が一定額(300万円)以下ならば、議員との兼業が認められるようになりました。

仕事を続けたまま
議員に立候補しやすくなったね!



議案の審議結果 第1回定例会（2月20日～3月17日）

番号等	件 名	結 果
1	令和4年度糸魚川市一般会計補正予算（第8号）	可決
2	令和5年度糸魚川市一般会計予算	可決
3	令和5年度糸魚川市国民健康保険事業特別会計予算	可決
4	令和5年度糸魚川市国民健康保険診療所特別会計予算	可決
5	令和5年度糸魚川市後期高齢者医療特別会計予算	可決
6	令和5年度糸魚川市介護保険事業特別会計予算	可決
7	令和5年度糸魚川市有線テレビ事業特別会計予算	可決
8	令和5年度糸魚川市集合支払特別会計予算	可決
9	令和5年度糸魚川市ガス事業会計予算	可決
10	令和5年度糸魚川市水道事業会計予算	可決
11	令和5年度糸魚川市簡易水道事業会計予算	可決
12	令和5年度糸魚川市下水道事業会計予算	可決
13	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決
14	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決
15	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
16	糸魚川市立学校施設使用条例の一部を改正する条例の制定について	可決
17	辺地に係る総合整備計画の変更について	可決
18	糸魚川市白馬山麓国民休養地条例の一部を改正する条例の制定について	可決
19	市の区域内に新たに生じた土地の確認について	可決
20	字の変更について	可決
21	字の変更について	可決
22	糸魚川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
23	糸魚川市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
24	糸魚川市医師養成資金貸与条例の一部を改正する条例の制定について	可決
25	令和4年度糸魚川市一般会計補正予算（第9号）	可決
26	令和4年度糸魚川市簡易水道事業会計補正予算（第3号）	可決
27	教育委員会委員の任命について	同意
28	監査委員の選任について	同意
29	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
30	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
31	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
32	農業委員会委員の任命について	同意
33	農業委員会委員の任命について	同意

番号等	件 名	結 果
34	農業委員会委員の任命について	同意
35	農業委員会委員の任命について	同意
36	農業委員会委員の任命について	同意
37	農業委員会委員の任命について	同意
38	農業委員会委員の任命について	同意
39	農業委員会委員の任命について	同意
40	農業委員会委員の任命について	同意
41	農業委員会委員の任命について	同意
42	農業委員会委員の任命について	同意
43	農業委員会委員の任命について	同意
44	農業委員会委員の任命について	同意
45	農業委員会委員の任命について	同意
46	農業委員会委員の任命について	同意
47	農業委員会委員の任命について	同意
48	農業委員会委員の任命について	同意
49	農業委員会委員の任命について	同意
50	農業委員会委員の任命について	同意
51	令和4年度糸魚川市一般会計補正予算（第10号）	可決
陳情11	民主主義の根幹である法の下の平等を守る為の陳情	不採択

人事案件

教育委員会委員の任命

現委員の任期満了に伴い、次の方の任命に同意しました。

楠 愛さん（新任・柵口）

任期 令和5年5月20日から4年間

監査委員の選任

現委員の任期満了に伴い、次の方の選任に同意しました。

渡邊 勇さん（新任・寺町）

任期 令和5年4月1日から4年間

固定資産評価審査委員会委員の選任

現委員の任期満了に伴い、次の方の選任に同意しました。

小田島 澄恵さん（再任・新鉄）

村井 康さん（再任・能生）

山岸 洋一さん（再任・寺地）

任期 令和5年5月19日から3年間

農業委員会委員の任命

現委員の任期満了に伴い、次の方の任命に同意しました。

渡辺 朗さん（新任・東川原）

片山 敏隆さん（再任・谷根）

大島 博さん（再任・中野）

恩田 正平さん（再任・大平）

近藤 栄樹さん（新任・梶屋敷）

松木 秀夫さん（新任・真光寺）

米原 文明さん（再任・寺島）

荻野 輝道さん（再任・大野）

猪又 正巳さん（新任・頭山）

加藤 政人さん（新任・上野）

任期 令和5年7月20日から3年間

福田 幸生さん（再任・百川）

井上 二郎さん（再任・能生）

齋藤 登さん（再任・指塩）

稲葉 淳一さん（再任・楨）

齋藤 正機さん（新任・須川）

川合 次夫さん（再任・鬼舞）

松澤 正善さん（新任・須沢）

松澤 隆一さん（再任・上路）

樋口 佐登子さん（再任・中浜）



普通救命講習を受講しました。

1月19日に市消防本部の普通救命講習を受講し、心肺蘇生法や自動体外式除細動器（AED）の使い方を学びました。



市内の小学生が議場の見学に訪れました。

3月15日に木浦小学校の3・4年生が市役所の庁舎見学を訪れ、議場の見学を行いました。



議会を傍聴 しませんか？

6月 市議会定例会の会期及び日程（予定）

日	月	火	水	木	金	土
6/11	12 本会議 初日	13	14	15 議会運営 委員会	16 本会議 一般質問	17
18	19 本会議 一般質問	20	21	22 市民厚生 常任委員会	23 総務文教 常任委員会	24
25	26 建設産業 常任委員会	27	28 議会運営 委員会	29 本会議 最終日	30	7/1

- 本会議は6階議場、委員会は6階第二委員会室で午前10時から開始します。
- 本会議（議場）の傍聴席入口は7階です。市役所正面玄関に入って左側のエレベーターをご利用ください。
- 本会議、委員会いずれも各入口に受付簿がありますので、住所と氏名を記入して入場してください。

※6月定例会で議題とする請願・陳情は、6月2日（金）までに提出されたものになります。
詳しくはお問合せください。

インターネットで市議会の模様を配信しています。

市議会の生中継映像（本会議）と録画映像（本会議・予算審査特別委員会）を配信しています。



【生中継映像】



【録画映像】



←スマートフォンか
タブレットで読み取ってください。

